

にほんばし

人形町

Vol. 97 秋号

Ningyocho 2005

特集 谷崎潤一郎と歩く、人形町

●CLOSE-UP—愛でお月見、食べるお月見!

●だいちゃんのイチ押し—秋こそ、お洒落を楽しもう!!



創業宝暦十年(1760)元祖軍鶏鍋 御鷹匠 玉ひでと書いてある。そして、「この先三軒め」の矢印も。その矢印通りに角を曲がると、お目当ての「玉ひで」の場所はすぐ分かる。なぜなら、「こはお昼時になると、いつも長蛇の行列だから。私も11時頃から親子丼目指して何度か並んだもの。「玉ひで」は、山田鐵石



「甘酒横丁」交差点は地下鉄出口すぐ

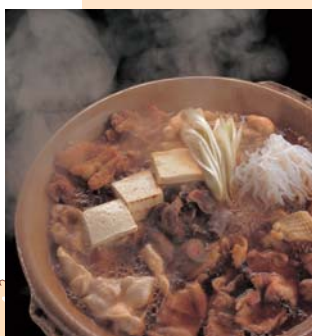


「甘酒横丁」交差点にある「ちとせ屋」

「甘酒横丁」交差点の角に見えるのが、谷崎潤一郎の小説にも登場している「ちとせ屋」。ここは今も充分現役の佃煮屋さん。店内には、カメがいくつも並んでいて、おいしそうな佃煮がいっぱい！お歳暮、お中元など、常連のお客様が訪れるという、まさに「知る人ぞ、知るお店」。



「玉ひで」1階の店内



一子相伝・秘法の味「軍鶏鍋」。「谷崎先生が随筆「ふるさと」(中央公論・昭和33年6月号)で書いている「……始終取り寄せて食べた」とは、軍鶏鍋のことではないでしょうか」と8代目ご主人は語る。

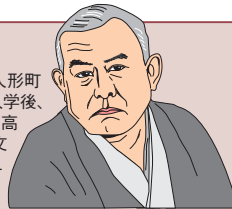
衛門が妻「たま」と共に、現在の人形町3丁目に当たる地に屋号を「玉鐵」と称して、軍鶏専門の店を出したのが初め。その後、名物店番付で鳥料理5店の中選ばれたり、「東京牛肉・しゃも流行見世」の番付に残る昔も今も超有名名店！行列の親子丼は、鳥鍋の残りの割下に卵をとじる食べ方にヒントを得たもので、我が国最初の「親子丼」がお出前として売り出され、全国に広がっていったという。

谷崎潤一郎と歩く、人形町。

みつちゃんのみ

【谷崎潤一郎】

1886-1965 東京の人形町生まれ。阪本小学校に入学校後、府立一中(現・日比谷高校)、東京帝国大学国文学科へ。25歳の時、第二次「新思潮」に「刺青」を発表。その後、東京から、小田原、横浜、そして関東大震災の後、関西、熱海へ。主な著書に「卍」「春琴抄」「細雪」「痴人の愛」他、随筆に「源氏物語」現代語訳などがある。



【粹奈 瞳】
(みつちゃん)

粹奈家の頭が切れるおきゃんな長女。いなせの看板娘で、人形町のアイドル。

人形町生まれの私。もちろん、ここが谷崎潤一郎の生まれた街であることは知ってらるつもり。でも彼ゆかりの場所がどこだかなんて、さっぱり？？？聞くと、谷崎の小説に人形町が登場しているらしい。特に今年は谷崎潤一郎の没後40年。そこで文学の秋にちなんで、谷崎の小説をもとに、彼と今の人形町を散策してみよう。

今も残る「甘酒横丁」交差点のお店とは。

幼少 時代
「私は多分それが私の四、五歳の時のことであつたらうと思う記憶を、二つ三つ持つている(略)……ここで、よつと、その活版所の位置と、附近の町の様子とを説明しておく必要があるが、戦争前に、都電が銀座の方から来て、水天宮の角を曲がって、人形町通りと小伝馬町の方へ伸びていく左側、……つい去年あたりまで残っていた甘酒屋の向う側の、清水屋という絵双紙屋と瀬戸物屋の角を曲った右側の、二つ目の角から西へ二軒目のところにその家はあつた。この清

水屋は今ほ玩具屋になり、瀬戸物屋は代が変つて「ちとせ」という佃煮屋になり、二階に鳥屋の「丕秀」が越して来てゐるそうである。私の生まれた活版所の跡は、現在は空地のままになつてゐるとやら。」
ふる さと
「(略)いまもある玉ひでは私の家から東へ一、二軒目の所にあつて、おもしろいかしら屋だつたので食べに行つたことはいないが始終取り寄せて食べた……」

さあ、谷崎潤一郎 生誕の地へ。

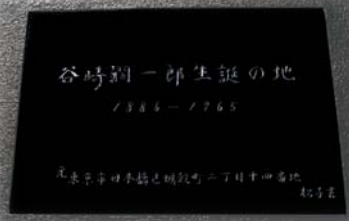


「玉ひで」から3軒先あたり。見過ごしてしまいうような通りの一角に、二つの碑を発見！

壁にかかっているその碑を見ると、やさしそうなその筆跡に「谷崎潤一郎生誕の地」と。しかも住所がおもしろい！元東京市日本橋区蠣殻町二丁目十四番地。東京が「市」とはナニ？ さらに松子書とある。そう、このやさしそうな筆跡は、松子夫人によるもの。

私と同じ、人形町生まれだった文豪 谷崎潤一郎。まずはこ挨拶代わりに、谷崎について少々勉強を――

谷崎潤一郎は本名。祖父は近江商人の血を引き、商才に富み、裕福な家庭だった。その祖父の経営する活版所に両親と寄寓。「幼少時代」で、彼は自分が生まれた活版所のことを、



「谷崎潤一郎生誕の地」は、現在の人形町1-7-10にあたる。筆跡に注目！

以前銀座のあったところで、黒漆喰の土蔵造りの家の奥座敷の中であつた、と書いている。ここで大店の坊ちゃんとして、何不自由なく育てられた谷崎。婚養子の父は祖父の援助で、青物町に洋酒店を開業。まもなく経営不振のため、店を閉じ、再び蠣殻町の本家に同居。さらに通称米屋町へ蠣殻町1丁目辺り（の裏通りで米の仲買店を経営するが、これも失敗。一家は浜町、南茅場町と近くを転々とし、裕福な家に育つた彼は屈辱的な生活へと入っていった。

谷崎も通いたかった「有馬小学校」

幼少時代
〔略〕私は蠣殻町時代から人形町界限に特に親しむを感じていたので、小学校といえれば水天宮のうしろにある有馬小学校のことしか考えていなかった！

少年

「もうかれこれ二十年ばかり前になろう。漸く私が十ぐらいで、蠣殻町二丁目の家から水天宮裏の有馬小学校に通って居た時分――〔略〕」



創立130年を迎える有馬小学校

水天宮のすぐ東に、ちよつと風変わりな学校がある。ここが元は大名屋敷の跡地だったという「有馬小学校」。しかし通りに面しているのは、公園であり、学校というイメージは（？）。ここは、公園と小学校 幼稚園が一体化されている何とも珍しい施設。校門代わりなのか、大木戸に「中央区立有馬小学校・幼稚園」とあるのが、おもしろい。さらに白い築地塀に瓦屋根がぐるりと囲んでいる。すると、その向うにやつと時計台がお目見えだ！ 大名気分で大木戸と築地塀をくぐつてみると、すぐはやっぱり「蠣殻町公園」だった！ 真中に「少年」像が立つ。それを囲むように、今

もベンチには人々がそれぞれ憩いの時を過ごしている。手を胸の前で組み、まっすぐ立っている「少年」を見ると、谷崎潤一郎の小説「少年」の姿が思い出されるのは、私だけ？
キンコンカン“鐘の響きでふと我に返つた――でも実際、彼が通つていたのは阪本小学校だったはずだけど……そんな勝手な想像を思い描くのも、また楽しいかも！

「蠣殻町公園」にある佐藤忠良氏作「少年」の像



正門前には、「スリーの子羊」の彫刻がお出迎え



築地塀が目印の「蠣殻町公園」



樹々の間から覗くのが有馬小学校の時計台



明治7年に1丁目に開校し、昭和8年に現在地に移転した「有馬小学校」正門はなんとも立派！

格好の遊び場だった 「水天宮」 「大観音寺」

【略】二度とも水天宮の縁日の日の、やはり昼間、深夜から帰って蟻舘町の自家へ寄り、そこから人形町へ出て、釜双紙屋の清水屋の角を三原堂の方向へ、二丁来た時であった……(略)



明治中期頃の「水天宮」門前。谷崎が生まれた頃か。(写真提供 有田野氏)

今度は、水天宮の交差点に立つてみる。ちよっとオシャレな交番の上に見え隠れする「水天宮」。今は階段を上り、鳥居をくぐるが……。もともとは水天宮は本宮が久留米市(福岡県)にあり、分霊して久留米藩主有馬家の江戸上屋敷(現在の港区赤羽橋)に移ったもの。本来はお殿様だけの屋敷神として祀られていたもので、一般庶民の参拝はできなかった。お抱えの神様とは、なんと広いお屋

敷だったことか！ その後、毎月5日に限り、屋敷が開放され、一般参拝が許されたという。そして現在の地に移ったのが、明治6年。安産と子授けにご利益があると、今も人々の信仰を集めている。谷崎が遊んでいた頃の境内とは全く違うが、今も十二支に因んで十二日毎の戌の日は、たくさんの方が参拝に訪れ、賑わっている。



現在の「水天宮」

「天気の良い日には、ばあやばあやと背中を負って……(略)中でも大観音は漆版所と同じ町内にあったので、頑足ない時から最も馴染みが深かった。今は彼処がどんな風になっているか知らないが、昔は表通りからよっと奥へ入り込んでいて、石だたみの道の両側に、浅草の仲見世と小さくしたような玩具屋の店が並んでいた。私は必ずその前を通ると何かしら玩具とねだって帰った。」

水天宮交差点から人形町交差点へと向かう。途中、商店街の中ほどに五色の幟旗があり、燈籠の下にはお百度石が……。ここが谷崎がよく遊んだという「大観音寺」。今は「水天宮」同様に階段の上だが、彼の小説をよく読むと、昔は奥まわっていたがお寺は下にあり、道の両側は仲見世のように賑わっていた

【大観音寺】門前



みたい。今は残念ながら、階段を上らないと、本堂の姿を見ることはできないけどね。お寺のご本尊は高さ170センチもある鉄造のお観音さま(鎌倉時代・都指定文化財)。ご開帳は毎月17日。私もおばあちゃんに連れられて、人形町で唯一のお寺である「大観音寺」を度々訪れる。谷崎も乳母に連れられて来た時、この大きなお顔の

「東京自慢人形町通り水天宮繁栄の図」(明治15年 鷲谷光寛氏所蔵) 昔も大勢の人々で賑わう人形町通り。嵐に「正観世音菩薩」とあるというところは、ここが「大観音寺」かな(?)

ご本尊と対面したのだから……、そんなことを考えながら、ご本尊と向き合っていると、お顔が心なしかいつもより優しく思えてくるから不思議だ。彼の小説を片手に「人形町」を散策してみたけれど、今まで知っているようで知らなかった場所やいわれも発見できた気がする。そして人形町の新たな横顔に触れたと同時に、谷崎潤一郎をこれまでよりも身近に感じられた。これを機会に彼の小説を読んでみようかな、文学の秋でもあるね……。

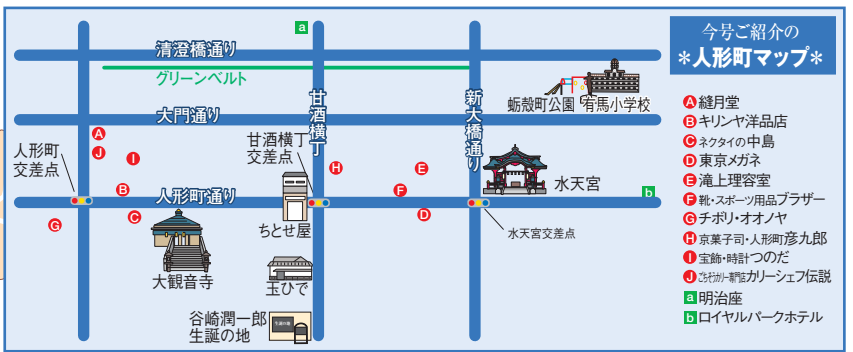


『刺青・秘密』新潮文庫 (『少年』はこれの中で短編として収録) 谷崎潤一郎著

金持ちだが気弱な同級生の少年と、その姉との交流を深めていくうちに性的倒錯の世界に入っていく『少年』の話。

『幼少時代』岩波文庫 谷崎潤一郎著

この本は江戸の面影を残す明治中期の東京の下町に生まれ育った著者が、生い立ちから小学校卒業までの時期を描いている回想記。



愛でるお月見、 食べるお月見!

人類が歩いてしまった月。でもその昔、人々は月で兎が餅をつくと言信「竹取り物語」が生まれたと言う。わらべ歌や童話になったお月さま。夜空に輝く満月の美しさを、垣間みよう。



芋名月とも言われる「十五夜」って?

澄み渡った夜空にこうこうと輝く満月を愛でるお月見。今年は9月18日(日)の夜の満月のことを「十五夜」と言い、この日に見る月は二年中で最も明るく美しいとされており、秋のまん中に出る満月の意味で「中秋の名月」とも言われています。現在のお月見といえば、十五夜が多いようですが、10月15日(土)(新暦)の月を「十三夜」と言い、本来お月見とは十五夜と十三夜の両方を愛でました。そして一方の月しか見ない事を「片見月」と言い、不吉なものだとされ嫌われていました。十五夜は別名「芋名月」と呼ばれ、これは主食が里芋で、収穫時期がちょうど(中秋)だったためと言われています。また、十三夜は、この頃に食べごろになる栗や豆などを供えたことから、別名「栗名月」「豆名月」と呼ばれ、収穫を祝うお祭りの意味もあつたようです。



お月見は中国から伝わり、平安の貴族たちの風習でしたが、江戸時代になると庶民や農民にも広がり、現在のようにポピュラーな行事になりました。

お供え物は盗ってもいい日?

「十五夜の団子は盗っても叱られない」これは神様にささげたもの。広くみんなまで分けあつて食べる、と言う考え方が各地に風習として残っていました。

この夜。満月のように丸い月見団子十五個と魔よけの力があるとされているススキをはじめ、里芋、栗、カキ、などの秋の恵みと秋の七草と共に、月の良く見える縁側などに供えました。満月は豊穰の象徴。豊作を祈る大切な節目でもあつたようです。



現在では、十五個の団子とそれぞれの時期にあつたお供え物を添え、輝く満月を家族で楽しく愛でることもよいものです。

ぬいげつどう

和生菓子 縫月堂

031366616739

下町で味わう
上品な味と風味の「芋ようかん」は
癖になりそう!

「最近、人気なのは「芋ようかん」とご主人。さつまもも時期だけの生菓子。そもそもある女性歌手がテレビ「食わず嫌い王決定戦」のお土産として持参したのが人気のきっかけとか。芋ようかんには添加物は一切なし。だから少し明るめの黄色。口の中で芋の風味が広がり、とてもまろやかである。夕方には売り切れてしまうので、お早めに!

ここ縫月堂は、人形町で開業して80年以上。昔ながらの手作り和菓子店である。また、甘味処も兼ねており、店内は落ち着いた雰囲気。厳選された小豆の甘い香りが漂い、あんみつ、お汁粉などの味を一段と引き立てている。

芋ようかん
1本 787円



うさぎとすすきが可愛い練り菓子



三方に飾った15個の月見団子

スギと大理石を使用したと言うこだわりの店内



人形町2-7-10
所 月～金9:30～20:00
休 土 9:00～18:30
休 日・祝

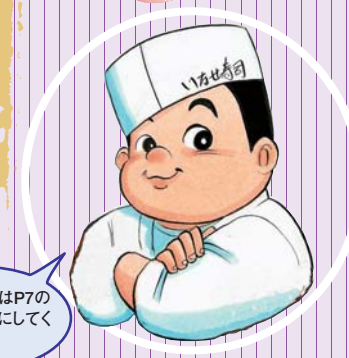


お店の場所はP7の地図を参考にしてください。

だいちゃん

イチ押し

秋こそ、お洒落を楽しもう!!



お店の場所はP7の地図を参考にしてくださいね!

爽やかな秋こそ
装いを新たに、
気持ちもリフレッシュ!
今回は、自分らしく、
お洒落な気分になる
お店を紹介。

キリンヤ洋品店

大人の装いはキリンヤで!

「ガラスに枠があるでしょう。それは、主人が汽車の窓をイメージしたの」と言う奥様。創業は大正13年。商品の主力は紳士物。そのショーウィンドーにはワイシャツやスポーツシャツ、西陣織りのネクタイなどが綺麗にディスプレイ。また婦人服もデザイナー物のニットからブラウスなどが揃えられている。また、ズボンの裾などちょっとしたお直しも引き受けてくれるのがうれしい。

右から
スポーツシャツ11,550円
Yシャツ3,619円
ネクタイ1,950円

人形町2-6-3
03-3666-5741
10:00~19:00
日 休

ネクタイの中嶋

人形町の粋は男の胸元から

右から
プリントネクタイ 各3,900円
織りネクタイ 各8,400円

3代目のご主人からネクタイ専門店に。他で売れるから人形町でも売れるものではなく、人形町には人形町の生き方があると言う、ましてデパートにない良い商品を選んで仕入れるという徹底さ。店内にはそんなこだわりネクタイが約500本位。若いころ来てくれたお客さまから「なつかしいから寄ったよ」と声がかかってくるような人情厚いお店である。

人形町1-19-6
03-3666-1789
8:00~19:00
土・日・祝 休

東京メガネ

商店街と共に歩んで百年以上

「メガネは顔の一部です…」でおなじみの東京メガネ。明治16年創業、ナント!創業地は人形町。ハリからの直輸入のファッション性を取り入れたピエール・マルリーをはじめ、オリジナル商品、サングラス、補聴器等も数多く取り揃えている。視力測定から補聴器の聴力測定まで、メガネのことなら何でも気軽に相談できるお店である。

ピエール・マルリー 50,400円
ラルフ・ローレン 25,200円
GUCCI 33,600円

人形町1-15-6
03-3661-2906
平日10:00~19:00
日祝10:00~18:00
第2・3日 休

滝上理容室

グリーンで覆われた憩いの理容室

調髪3,800円
女性の顔そり2,800円
高校生の顔そり2,200円
小2,200円
中2,700円

午後3時半ごろ、滝上理容室のBGMはなんと落語が…。店内は一面鏡、何処からでも見える。来店のお客さまがわかるので対応が早いとか。人形町に開業したのが昭和2年。現在は3代目のご主人。サラリーマンのお客さまが多いから朝は8時からと早い。朝はラジオ。時間帯によってBGMが変わる。そんな楽しい雰囲気のある理容室である。

人形町2-2-12
03-3666-4493
8:00~19:30
日・祝 休

靴・スポーツ用品 ブラザー

健康は足から。もつと足に優しい靴を!

各10,000円前後位迄

子供靴、婦人靴、そして上質でリーズナブルな紳士靴が足の踏み場なく、所狭しと並べられている「ブラザー」。人形町で80年以上。最近では足にやさしい靴を求めてくるお客さまが多いとか。モットーは「履き良い靴を置く」と言うご主人。「人形町ブラザーズ」チームの監督。一昨年は区商連大会で優勝。まさしくスポーツシューズなど実践でその良さをアピールしているのかも。

人形町2-2-2
03-3666-9828
10:00~20:00
無休

チボリ・オオノヤ

リーズナブルで種類豊富

靴下1足300円
4足で1,000円

本織りネクタイ各3,000円

人形町交差点裏通りに位置する「チボリ・オオノヤ」。人形町に開店して80年あまり。戦前は白足袋を商っていたが、分家として先代が洋品店「オオノヤ」と喫茶店「チボリ」を開店。その名店を併せて現在に至っている。店内には日用品からネクタイをはじめ、靴下、婦人物まで数多い品揃え。リーズナブルな価格で随時ワゴンセールもある。

人形町3-7-9
03-3661-4009
10:00~18:00
土・日・祝 休

INFORMATION

京菓子司・人形町 彦九郎

甘酒横丁に新規オープンした京菓子の専門店。中でも彦九郎の看板菓子「とらやき」は大人気。虎の柄のように見える少し厚みのある皮と餡とが上品で飽きのこないおいしさは逸品。ここ彦九郎には四季折々の美味しさがある。



6/25
NEW
OPEN

和菓子セット
2,100円

人形町2-11-3
TEL 03-3660-5533
●営業時間/8:30~21:00
●定休日/日・祝日

宝飾・時計 つのだ

「良いものをより安く」が基本と言うご主人。店内は豊富な品揃え。時計の電池交換はその場ですぐ取り替えてくれる。また宝石のリフォームから時計の修理などをしてくれます。



特典
本誌「人形町」をお持ちの方はグッチの時計・チタゲルマニウムブレスレットが定価の半額!!

グッチの時計 定価75,600円 売値41,900円
本誌をお持ちの方 特価39,000円

チタゲルマニウムブレスレット 定価18,900円 売値9,450円
本誌をお持ちの方 特価8,800円

3/28
NEW
OPEN

人形町2-7-2
TEL 03-3249-7755
●営業時間/7:30~20:00
●定休日/日

ごちわ 人形町 かりシェフ伝説 人形町店



27種類ものスパイスを使用し、一口食べたらくせになるごちわかり専門店「かりシェフ伝説」。辛さもお好みで3段階にできるのが嬉しい! 一番人気は、定番の「伝説カレー」で、ガッツ石松プロデュースの「ガッツ! サバカリー」もオススメですとか。



6/16
NEW
OPEN

人形町2-7-10エル人形町1F
TEL 03-5642-6377
●営業時間/8:30~21:00
●無休

ロイヤルパークホテル

大木トオル クリスマスディナーショー

From New York ~世界のミスターイェローブルース、感動のアンコール~

- 開催日 2005年12月11日(日)
- 時間 受付 17:30
ディナー 18:00
ショー 19:00
- 会場 ロイヤルホール(3階)
- 料金 お一人様 30,000円
(税金・サービス料含む)
- 出演 大木トオル



※収益の一部をセラビドッグ育成基金に寄付させていただきます。

お問い合わせ・ご予約 ロイヤルパークホテル 03-3667-1111

明治座

爆笑、乱れ咲き!最強コンビが待望の復活!

梅沢武生劇団 梅沢富美男 特別公演 前川清

【出演】梅沢武生 梅沢富美男 前川清 【会期】10月2日(日)~23日(日)
【料金】(消費税込) 【開演】
A席10,000円 B席4,000円 昼の部11:00 夜の部16:00

●明治座チケットセンター 営業時間 10:00~17:00

03-3660-3900

人形町 秋のイベント

大道芸人のパフォーマンスたっぷりの

第17回「てんでん祭」



当日は人形町通り半分を通行止め(人形町交差点から水天宮交差点と甘酒横丁)にし、アーティストによるパフォーマンスや日本橋中学校吹奏楽部による演奏、セラビドッグエキジビジョンなどが開催される。また、富くじや警察・消防署による交通指導・消火器的な体験コーナーなどがあり、盛り沢山。毎年多彩な内容で盛大に行われている「てんでん祭」である。



第17回
てんでん祭

●日時/平成17年10月9日(日)
11:30~16:30(道路規制午前9:00~17:30)
●場所/人形町大通り(水天宮交差点から人形町交差点まで)

人形町 商店街 秋の祭典

17回忌特別公演

美空ひばり フィルムコンサート

今年は昭和を代表する歌手美空ひばりさんの17回忌を迎え、追悼フィルムコンサートが開催される。ヒット曲の数々を懐かしい歌声とともに振り返り、さらにスペシャルゲストに加藤和也氏(株)ひばりプロダクション社長)を迎え、お母さまとして、また歌手美空ひばりとしての素顔を忍ぶ。

■美空ひばりフィルムコンサート

日時/平成17年10月18日(火)
18:30開演(18:00会場)
場所/中央区日本橋公会堂 4階ホール(日本橋劇場)
中央区日本橋蠣殻町1-31-1
募集人数:424名 入場無料

■お申し込みについて

応募方法

応募用紙または官製はがきにて
1.コンサート名 2.郵便番号 3.住所 4.氏名
5.電話番号 6.観覧希望人数(2名様まで)をご記入の上、下記までお申し込みください。

申し込み・お問い合わせ

〒103-0013
中央区日本橋人形町1-18-9
人形町商店街協同組合 TEL03-3666-9064
「美空ひばりフィルムコンサート」係まで

申し込み締切り

平成17年10月1日(土)消印まで有効
※なお、当選は入場引き換え券の発送をもってかえさせていただきます。



スペシャルゲスト
加藤和也氏

※ご記入いただいた個人情報
は、商品等をお届けする
目的で利用させていただきます。
個人情報保護方針に基づき
厳重に管理し、お客様の
許可なく、その他の目的
では使用いたしません。



人形町の或る日

(スポーツの秋編)

味処

- 日本料理・酒処
- ふぐあをき (3666) 0820
- 割烹 魚久 (3666) 3848
- 和風居酒屋 えいと (3661) 7795
- 寿司 江戸浜 (3669) 1781
- 串揚げ 絵凡 (3664) 6077
- お食事処 おおいし (3668) 3019
- そば処 翁庵 (3666) 7656
- ふぐ料理 かねまん (3666) 3717
- 元気玉の 神田七ふく人形町店 (3896) 8051
- 下町の味 崑寿司 (3666) 1682
- 関西料理 人形町北浜 (3666) 3348
- ふぐ・一品料理 吉星 (3666) 9779
- 割烹 吉晁 (3666) 7046
- やきとり 久助 (3639) 5409
- 鮎懐石 京樽人形町総本店 (3666) 5445
- うなぎ 崑代川 (3666) 3197
- 和風料理 清濱田 (3666) 6468
- 碓そば・酒処 金碓庵 (3666) 4524
- 居酒屋 くじらい (3661) 1252
- すし処 彩旬 (3668) 1616
- お好み焼 さのや (3666) 4986
- ふぐ・一品料理 三栄 (3666) 8057
- 生そば 松竹庵 (3661) 3995
- お料理&ギャラリー 旬彩 (3666) 0831
- 寿司幸 (3666) 1927
- 居酒屋 素材屋人形町店 (3664) 7730
- 鳥料理 玉ひで (3668) 7651
- タンゴズダイニング日本橋人形町店 (5847) 4645
- 居酒屋 たんぼぼ (3668) 2681
- てん井 てんや人形町店 (3664) 4023
- 日本そば 東嶋屋 (3666) 6964
- 旬の味 十四郎 (3662) 0163
- 鉄板焼 とみしま (3664) 4060
- 釜めし なかにし (3666) 5746
- 寿司 中乃見家 (3669) 2250
- 北の味紀行と地酒 北海道 (3667) 3255
- 鮎の味 満寿鮎 (3666) 4536
- お好み焼・鉄板焼 松浪 (3666) 7773
- 牛めし 松屋人形町店 (3666) 4561

- スナック 弥太郎&ゆき (3661) 7214
- 浜町 藪そば (3666) 6522
- 魚河岸料理 よし梅 (3668) 4069
- 牛井の 吉野屋人形町店 (5645) 8139
- 鮎処 六兵衛 (3666) 7543

- レストラン・中華料理
- 中華 あづま軒 (3666) 1984
- イタリア料理 アル・ボンテ (3666) 4499
- レストラン アントレ (3669) 3080
- レストラン カサドル (3666) 8856
- お祝祭館 カリシェア伝説人形町店 (5642) 6377
- 西洋厨房 ガリバー (3669) 8646
- 洋食 キラク (3666) 6555
- グリルツカサ (3666) 8997
- 西洋料理 ぐるとん (3668) 6732
- カレーハウス Cocom番屋 (5695) 7760
- 洋食 小春軒 (3661) 8830
- 四川亭 (5643) 0304
- インド&パキスタン料理 シティーク水天宮前店 (3666) 0132
- 翠蓮 (3664) 0036
- 創作食遊房 セリカ (3661) 9531
- 中華 大洋軒 (3639) 2468
- レストラン テキサス (3664) 1234
- 中華料理 天下一 (3584) 6951
- トラットリア サンマルツァーノ (3666) 3499
- 中華そば 日高屋人形町店 (3664) 7485
- 焼肉レストラン 富士 (3666) 3205
- 紅虎餃子房 人形町店 (3662) 8177
- レストラン 芳味亭 (3666) 5687
- ハンバーグ 日本マクドナルド (5642) 7046
- 北京料理 華明堂 (3666) 4501
- 洋食 来福亭 (3666) 3895
- 欧風料理 ラ・コンセルジュ (3666) 0808
- 喫茶
- 喫茶 友 快生軒 (3661) 3855
- カフェ・ド・クリエ (3664) 6070
- カフェ・ドルチェ (3666) 3334
- カフェ・ロイド (3661) 1423
- 珈琲 千里軒 (3666) 6072
- コーヒー 高久 (3639) 3233
- ドトールコーヒー 人形町一丁目店 (5645) 8650
- レストラン・喫茶 ぱく (3668) 6760

商処

- 教養・趣味・生活
- 趣味のギフト 伊勢茂 (3666) 4039
- 打刃物 うぶげや (3661) 4851
- 遠藤電気商会 (3669) 6936
- 印章・ゴム印 大橋印房 (3666) 1935
- かえる小物グッズ かえる屋 (3662) 1987
- くま薬局 (5651) 2161
- 携帯プラザ 人形町店 (3660) 6619
- コポリ文具店 (3666) 7633
- 佐野時計店 (3669) 2995
- 楊枝 さるや (3666) 3906
- 株式会社 三喜 (3666) 1762
- 至誠堂書店 (3666) 6704
- 志村商店 (3666) 3957
- BOOKS PISMO (5623) 7203
- 香老舗 松榮堂 (3664) 2307
- 清心丹薬局 (3666) 4828
- 金券ショップ 大黒屋 (3663) 0733
- 大成堂薬局 (3666) 5718
- 文具のチシマ (3662) 1561
- 宝飾・時計 つのだ (3249) 7755
- 婦人服修理 つるや洋装 (3669) 6647
- 東京家具 (3667) 6761
- 日用品ビデオ企画 戸田屋商店 (3666) 5940
- ドラッグ・オゾン (5623) 2133
- 家庭金物・化粧品 なんや商店 (3669) 5277
- ニッポンレンタカー (3639) 4649
- 日本通運 東京支店 (5652) 6930
- 日本橋かきながら町クリニック (5651) 1361
- 人形町指圧リバーズ (3668) 4936
- 人形町ロックサービス (3661) 3956
- レンタルスペース 白天堂 (3666) 5297
- 花繁 (3666) 8716
- DPE パレットプラザ (5643) 2213
- ガス器具販売修理 日比野商店 (3666) 5890

- ヒラマツ靴店 (3666) 8979
- ファミリーマート マルイチ (3666) 6850
- マッサージ 藤倉治療院 (3666) 3619
- 福住薬局 (3666) 3939
- 靴・スポーツ用品 プラザー (3666) 9828
- 文芸書店 (5652) 1769
- こだわりのうつわ 紅とも (3667) 6030
- 毎日新聞水天宮販売所 (3666) 7320
- マツモトキヨシ (3639) 2556
- 白衣・ユニフォーム 丸富士 (3668) 5941
- 生・造花式典 ミソノ (3661) 0010
- 靴みどりや靴店 (3666) 3404
- 文具事務務 ミヤギ (3662) 6813
- モリヤフォトスタジオ (3666) 5658
- 食品
- 食品の店 いたくらや (3666) 5835
- すき焼・割烹 人形町今半 (3666) 7006
- 京粕漬 魚久 (3666) 0048
- お茶の 共和園 (3666) 2050
- 和洋酒・食料品 小山酒店 (3669) 3881
- おにぎり コロナ人形町店 (3664) 2253
- 銘茶 佐七 (3667) 5659
- 酒・洋酒・食品 新川屋佐々木酒店 (3666) 7662
- ドイツパンの店 タンネ (3667) 0426
- 京漬もの 近爲 (3639) 9439
- 佃煮 ちとせ屋 (3666) 3816
- 鳥近 (3666) 3600
- 長谷川海苔店 (3666) 7381
- 魚貝類販売 浜乃院 (3639) 0231
- 富貴豆 ハマヤ (3668) 1866
- すき焼と肉の専門店 日山 (3666) 5257
- 須賀屋果実店 (3666) 9724
- ベーカリー プレタグテー (3667) 6511
- パン・食料品 人形町ベティスコ (3666) 5830
- サンドウィッチバーラー まつむら (3666) 3424
- 惣菜おでん 美奈福 (3666) 3729
- 茶卸小売 森乃園東京店 (3667) 2666
- うまいもの揃い食料品店 わしや (3666) 5778
- 親子焼・玉子焼・焼鳥 地鶏の鳥忠 (3666) 0025
- 和洋菓子・煎餅
- 人形焼本舗 板倉屋 (3667) 4818
- 人形焼・瓦せんべい 人形町亀井堂 (3666) 6654

- 京菓子司 寿堂 (0120) 480400
- おせん・おかき処 小藤屋 (3669) 7733
- ゼイタク煎餅 重盛の人形焼 (3666) 5885
- 手焼せんべい 草加屋 (3666) 7378
- 名菓 千鳥屋 (5645) 2155
- 江戸菓子匠・茶寮 つくし (3667) 5344
- 和風ファーストフード 天運堂 (3667) 3489
- 花見せんべい (3666) 3990
- 京菓子司 人形町 彦九郎 (3660) 5533
- カステラ 文明堂 (3668) 0020
- 和生菓子 繕月堂 (3666) 6739
- 和菓子舗 三原堂本店 (3666) 3333
- 高級鯛焼本舗 柳屋 (3666) 1822
- 不動産・金融・他
- アシスト30 (5643) 2031
- 菊弥不動産 (3669) 2526
- 興産信用金庫人形町支店 (3668) 5951
- センチュリー証券 (3667) 0371
- 不動産 宝や (3668) 0941
- 不動産管理 旅路 (3669) 8006
- 東京シティ・エアターミナル (3665) 7130
- 東京シティ信用金庫 日本橋支店 (3663) 8661
- 東京穀物商品取引所 (3668) 9009
- プロミス (3271) 2323
- みずほ銀行 蛸殻町支店 (3667) 2111
- 柳屋不動産 (3272) 1441
- 美処
- 婦人服 エフ・ビー・エス (3667) 5194
- 京扇子 京扇堂 (3669) 0046
- 紳士婦人服 キリンヤ洋品店 (3666) 5741
- 下町おもしろ工芸館 (3664) 3780
- マタニティ専門 ジョリー (3666) 7219
- きもの今昔 甚右衛門 (3662) 3651
- カットハウス スペース (3666) 9540
- 滝上理容館 (3666) 4493
- 特選呉服 立花屋 (3666) 3644
- 紳士洋品 チボリ・オオノヤ (3661) 4009
- 東京メガネ日本橋店 (3661) 2906
- ネクタイの中島 (3666) 1789
- 新感覚の染めと織り 錦や (3666) 5361

粋処

- つづら岩井商店 (3668) 6058
- 美術陶芸 京雅堂 (3666) 5666
- 和楽器 ばち英 (3666) 7263

愉処

- ホテル 吉晁 (3666) 6161
- グロリアツアーリスト (5641) 1220
- シティベンション ゼム (3661) 0681
- ホテル 日本橋サイボー (3668) 2323
- パチンコ 正村遊技場 (3666) 6000
- 旅館 満寿多 (3666) 3023
- ミゼパルク三ツヤサコレクション (3665) 0251
- 明治座 (3660) 3981
- ロイヤルパークホテル (3667) 1111

願処

- 大観音寺 (3667) 7989
- 水天宮 (3666) 7195

公処

- 東京メトロ 水天宮前駅 (3249) 6226
- 東京メトロ 人形町駅 (3661) 1924
- 都営地下鉄 人形町駅 (3662) 5095
- 都営地下鉄 浜町駅 (3667) 8351

谷崎活版所

文・有田芳男

東京日本橋人形町界わいは、灯がともる頃になると、外燈やビルの明かりが舗装道路を照らし、そこにはサラリーマン達が帰宅の道を急いでいます。そして鳥料理屋、すき焼屋、和菓子屋の老舗がお客様を迎える、温かい明かりも息を吹き返します。

谷崎潤一郎が生まれた人形町は、江戸下町の風情がよみがえってくるような場所、谷崎生誕の地としてビルの壁

面に、松子夫人の手による黒御影石の碑板が埋め込まれています。その場所は、人形町通りの中程の甘酒横丁の向い側を、西に向かった人形町一



「谷崎潤一郎生誕の地」碑板

丁目七番地の8階建のビルになっっています。

『幼少時代』は、谷崎六十歳か

ら七十歳にかけての作品でした。文豪谷崎であつては、取り上げる作品には事欠かないが、この作品が日本橋時代の幼時体験に想いを求めている点でも貴重なものと言えます。

裕福な商家に生まれた谷崎にとつて、幼少期の心を占めたのは、美しい母への思慕が強く、当時の錦絵に刷られたほどの美人でした。母の思ひ出、水天宮の神楽、歌舞伎見物が、後の作品に。しかし、その後日本橋から出られた谷崎は、以後戻ってくることはありませんでした。

有田芳男

ありれず

人形町商店街協同組合は応援しています。人とセラピードッグの心のふれあい。

